



夫婦で営む「丸長食堂」の一番高いメニューは680円の「烏バタ定食」。懐に優しく、レトロな店内はどこか懐かしい

10 hours pleasure

10時間のちいさな旅



高円寺 商店街をめぐる冒険

商店街をめぐる冒険

「アイデン&ティティは高円寺のアパートで貞しいながら幸せに暮らしていた」
映画化もしたみうらじゅんの漫画「アイデン&ティティ」で主人公の中島が歌う「コマ・1980年代後半のバンド・ブームに翻弄されたロック」の姿を描いた青春劇だ。物語の舞台で、ロックや若者文化の発信地、高円寺の現在を求めて商店街を歩いた。

「男だったらバーボンを飲め!」「純情商店街」を歩くと奇妙な商店街放送に耳を奪われた。店主はバー「バーボン」のなかタトゥーを入れた若者とお年寄りが仲良く順番を待っている。

商店街を抜けた環状7号線沿いのビルに「U.W.F.スネークピット・ジャパン」と書かれたレスリングジムを見つけていた。代表の宮戸優光さん(47)はプロレスラーのビル・ロビンソンさん(71)をヘッドコーチ

のパンクがパンクの抛

点だが、地元のお婆ちゃんの姿もちらほら。縦ノリのBG

の泉明美さん(41)が一人でや

りくりする千円カットの店だ。

シーウェイ」はパンクファンの姿を描いた青春劇だ。物語

の泉明美さん(41)が一人でや

りくりする千円カットの店だ。

シーウェイ」はパンクファンの姿を描いた青春劇だ。物語

の泉明美さん(41)が一人でや

りくりする千円カットの店だ。

「中通り」の別名は「ピンク通り」。少しいかがわしい

光景も、わずか30メートルで終わるのがご愛嬌



ドクロのシール、イベントのチラシなどが張られた理髪店「ジブシーウェイ」の玄関はライブハウスのよう



「中通り」の別名は「ピンク通り」。少しいかがわしい光景も、わずか30メートルで終わるのがご愛嬌



高円寺は「こだわりのある人だけを対象に商売できる場所」と「ニンカンプーフキャバシティー」の店長



「ベイビーピング・キッチン」のボリュームたっぷりのお子様ランチは1100円。「お姫様ランチ」もある



「機材を壊さず、店外から酒を持ち込まない限りは何をしてもいい」と「無力無善寺」のオーナーは話す



12年目を迎えた「スネークピット・ジャパン」には、コーチのロビンソンさんの写真が飾られている



1日約300人が入浴する小杉湯のギャラリーは展示無料。2012年まで予約済みという人気だ



JR中央線の高架下は、昼間でもビールを飲める屋台から、古書店までそろっている

構えにひかれ「丸長食堂」に入れる。亡き母の後を継いだ店主の長弓光一さん(39)のモットーは「若い人が元気になる味を」。ごはんは必ずメガ盛りで、有名ロックカーも売れない時代に通い詰めたという。

「中通り商店街」を進むと古びた家屋が見えてきた。「キタコレビル」には「ニンカンブー

ー」など複数の複数の古着店が集まる。中通りの終点「北中通り商店街」の副会長、松本哉さん(35)は05年にリサイクルショップを開いた。以降、松本さんの賛同者が次々と店を開いて、「素人の乱」は現れ始めた。経営者の平松茂さん(59)は改装を機にギヤラリーを設置し、若いアーティストを応援している。

小杉湯の正面、レトロな店構えにひかれ「丸長食堂」に入れる。亡き母の後を継いだ店主の長弓光一さん(39)のモットーは「若い人が元気になる味を」。ごはんは必ずメガ盛りで、有名ロックカーも売れない時代に通い詰めたという。

駅に戻る途中、「大人もお子様ランチを」という看板に誘われて「ベイビーピング・キッチン」に入る。滑り台などが設置されている。〔写真・文 小林健〕

に迎え、伝統的な欧州のレスリングを伝えてきた。「本場欧洲では失われてしまつた技術を教える世界で唯一の場所がこの高円寺」と胸を張る。

中央線高架下の「高円寺ストリート」で、不思議な店に遭遇した。ライブハウス「無力無善寺」。オーナー無善法師が自らギターをかき鳴らし「愛」について歌う。法師の「説法」に魂を抜かれて帰路についた。

高円寺はひつきりなしに移り住んでくる若者を地域住民が受け入れ、常に化学反応が起こっている。ロックも黒人と白人の音楽・文化の融合と解体のなかから産声を上げた異形の存在だった。新たな潮流を生み出し続ける高円寺は、今なおロックの精神を体現している。〔写真・文 小林健〕